

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

## 建築学生募集中 建築×合宿 関東圏で開催

2025/1/27 東京

建築設計を学ぶ学生を対象とした合宿イベント「建築×合宿 in Kanto」が、3月16～21日に神奈川県愛川ふれあいの村で開かれる。学生主体で企画・運営する同イベントは関西圏で20年続いており、関東圏での開催は初。異なる大学の学生が集い、5泊6日という限られた時間内にグループで設計課題を完成させる。アウトプット力やコミュニケーション力の強化、将来を見据えたネットワークの構築を図ることが目的だ。

学生実行委員長を務めるのは、愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科2年生の今井悠介さん＝写真。関東圏の初開催を企画したキーマンは「意匠・構造・設備設計といったさまざまな分野を学んでいる学生と交流することで、多くの知見やノウハウを得られるチャンス」と期待を寄せる。将来的なキャリア形成や進路選択、人脈・ネットワークの拡大にも有効と捉えており、多数の学生の参加を望む。

広報を担当する武蔵野美術大学造形学部建築学科2年生の赤羽りりいさんは、主にインスタグラムで同イベントの情報を発信。インパクトのある画像や学生がチェックする傾向が高いとされる時間帯（午後6～8時）の投稿、ストーリー機能を使った再投稿など、工夫を凝らした周知活動を展開する。昨年11月のアカウント開設から2カ月余りでフォロワーは100人近くに上り、手応えは上々だ。

参加資格は建築分野の授業を履修したことのある学生。費用は3万円（移動、宿泊費込み）。申込締め切り日は2月1日。80人の参加を目標とする。設計課題のテーマは「駅」。より実践的なプログラムとするため詳細は合宿初日に発表する。

同イベントは総合資格（東京都新宿区）が共催しており、学生主体の取り組みを重んじつつ寄り添い、さまざまな相談に応じている。建設産業界の担い手不足が課題となる中、「将来のまちづくりを担う若者たちを支援する意義は大きい。イベントの成功と定着を目指し、私たちにできることをしていきたい」。関東ブロック学校法人課の奥村一也課長が背中を押す。

学生実行委員長の今井さんは、打ち合わせ場所の提供や企画内容に関するアドバイスへの感謝を示しつつ「持続的なイベントとしていくため、趣旨に賛同してもらえる企業や団体の支援、協賛がもっとほしい」と要請する。

明日を夢見る若者たちの活動に対し支援の輪が広がっていくことを期待したい。（東京支社ビジネス開発事業部＝栗田涼）



学生実行委員長を務める今井さん